

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	家庭科	種目	家庭科
----	-----	----	-----

発行者略称	東京書籍	教科書名	新しい家庭
-------	------	------	-------

所 見
<p>1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○めざす子供像を示すとともに各ステップごとに「学習のめあて」「ふり返ろう」をこまめに設定し、目的意識を持って学習に取り組み、達成感や学習への意欲を高めようとしている。 ○問題解決的な学習を通して、学習したことを家庭生活に生かし、生活者としての実践力が身に付くよう工夫されている。 ○基礎的・基本的な知識及び技能が確実に習得できるように工夫されている。 <p>2 内容について</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能の習得></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「これだけはできるようになろう」と基礎技能をまとめた「いつも確かめよう」巻末拡大版の実物大写真が個への対応（左利き等）も配慮されており、児童が必要なときに確認ができて基礎・基本の確実な習得に役だっている。 ○キャラクターにより、学習の重要な点が示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等の育成(言語活動)></p> <ul style="list-style-type: none"> ○問題解決の流れを3ステップで示し、全大題材を3つの小題材から構成している。 ○活動のアドバイスが多く、書き方や考え方の例が細かく示されている。 <p><主体的に学習に取り組む工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の始めに学習のめあてがまとめてあり見通しをもって取り組めるように工夫されている。 <p><家庭生活への関心></p> <ul style="list-style-type: none"> ○実践例を多く載せることによって、実生活と学習を関連づけて、家庭生活への関心を高めている。 ○「ふり返ろう」「生かそう」の項目があり、家庭生活へ目が向くよう工夫されている。 ○自由研究「わが家のきずなアップ作戦」として家族と話し合うことを呼びかけたり、家族で防災会議を5年社会と関連づけてたりして家庭生活への関心意欲を高めている。 <p><実践的・体験的な学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「プロから学ぼう（ひと言）」を入れることで、興味をもたせ実践への意欲を高めている。 ○「資料」や「D o !」を通じて、具体的な活動例が数多く紹介され、実践に生かせるよう工夫されている。 ・「D o !」で修学旅行の行事を例にとり、買い物をした理由を話し合わせる工夫がされている。 ・「D o !」でクリーン大作戦のトライカードが添付され、家庭での実践を促している。 <p><安全や衛生への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○用具の取り扱いが、図や写真で詳しく提示され、マークや太文字、写真やさし絵等を用いて、安全や衛生への意識化を高めている。 <p>3 資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手順がすべて絵である。 ○具体的に生活が振り返れるように工夫している。(例 どの朝食がよいか等) ○言語力・表現力を高める「ワークシート例」が掲載されている。 <p>4 表記・表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○太文字が多く使われている。また、「工夫・働き・献立」は漢字を使用している。 ○ふりがなは、小さくても読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用している。 <p>5 全体的な特徴、その他</p> <p>問題解決的な学習を繰り返すことで、基礎的・基本的な知識と技能が身に付けられるように工夫されている。豊富な資料の提示とともに本文の分量が考慮されている。</p> <p>生活との関わりを大切にしたビジュアルなデザインで学習意欲を高めたり、「できた」という達成感、「作りたい」「おいしい」という楽しみを重視し、自己の成長を実感し家庭生活を楽しむという実践的な態度が養えるようにしている。</p>

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	家庭科	種目	家庭科
----	-----	----	-----

発行者略称	開隆堂	教科書名	わたしたちの家庭科
-------	-----	------	-----------

所	見
1	<p>学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の生活を見つめることから始め、できることを増やし、さらに工夫して、生活に生かすという2年間を見通した題材構成になっている。 ○題材ごとに「学習のめあて」と「ふり返ろう、生かそう」が対応していて、児童が主体的に取り組み、指導と評価の一体化が図れるよう工夫されている。 ○学習の系統性や学校行事等を配慮し、小さいものから大きなものへ、単純なもの・平易のものから複雑なもの・難しいものへと学習が系統的にできるように工夫している。
2	<p>内容について</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能の習得></p> <ul style="list-style-type: none"> ○実習・製作では、最初に題材に共通する基本的な手順を取り上げ、次に、個々の実習例・作品例に対応する具体的手順を取り上げている。 ○「材料の洗い方」では、「ふり洗い」や「流水で洗う」など学習指導要領に忠実な表現で書かれており、基礎・基本の習得に役立っている。 <p><思考力、判断力、表現力等の育成（言語活動）></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「考えよう」「話し合おう」コーナーを設け、思考力・表現力等の育成を図っている。 <p><主体的に学習に取り組む工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学習のめあて」を設け、これだけはできるようになろうという目標を掲げ、見通しをもって学習を進められるようになっている。 ○各題材の終わりに、「ふり返ろう」「できたかな」のコーナーを設け、自己評価により学習の確認ができるようになっている。 <p><家庭生活への関心></p> <ul style="list-style-type: none"> ○長期休業前に「チャレンジコーナー」を設け、学習したことが実践できるように製作例などを豊富に取り入れている。 ○調理の材料と分量において、もみのり、ごまアレンジも加えており、家庭での実践意欲を高めている。 <p><実践的・体験的な学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「環境」「消費」マークで生活者の一人であることの自覚を促している。 ○児童の日常生活に結びついた具体例をもとに学習が進められるよう工夫している。 <p><安全や衛生への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○お湯の沸かし方の学習では、湯気の絵を描き視覚的に分かりやすくしている。 ○食物アレルギー、食中毒への対応の記述があり、衛生への配慮がなされている。 ○「安全」「防災」などの特定マークを示して注意を促し、学習できるようにしている。
3	<p>資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○写真が豊富に使われており、メリハリがある。色も豊かで見やすい。 ○自分や学校生活の写真を多く取り入れ、資料の共有化が図れている。
4	<p>表記・表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調理実習の手順が、実感を伴って作業が進められるよう写真で示されている。 ○実習・製作手順が配慮を要する児童にも分かりやすいように、視線の流れを考慮し横に流れるように統一している。なお、「くふう・はたらき・こんだて」はひらがなを使用している。 ○大切な言葉は、本文中にゴシック体で示している。また、生活の中で使われてきた家庭科に関する言葉を脚注の「一口メモ」で解説し、家庭科でよく使われる用語一覧も掲載し言語力の育成も図っている。
5	<p>全体的な特徴、その他</p> <p>ストーリー性のある題材構成と配列がされており、初めて学ぶ5年生に基礎・基本が、スモールステップで積み上げられるように題材を細かく構成・配列している。6年生は、基礎・基本をもとに応用しながら生活に生かしていく力が身に付くように工夫されている。また、食育関連のページに「食育マーク」をつけ、一目でわかるようにしたり、日本の伝統的な食事を中心に地域の文化や地域の食材を取り上げたりして、家庭での実践的な態度が養えるようにしている。</p>